

当面の放課後児童クラブ（学童保育）の進め方（案）

◆現状と今後の対応等

統合（予定）校 及び（統合年 度）	校区	平成 29 年度 学童実施場所 (H29. 7 月利用登録 者数《定員》)	平成 30 年度以降の対応等予定
清流 (H28)	旧片貝	片貝公民館 16 人（通年 2 人・長 期 11 人・一時 3 人） 《33 人》	<ul style="list-style-type: none"> ・ H29 年度末閉所予定（H29. 9. 19 保護者との意見交換会、H29. 10. 17 市長タウンミーティングにおいて説明（利用者的大幅減、来年度の支援員の確保困難等について理解を求めた。保護者からは夏休み等における子どもの居場所を求める要望あり） ⇒地域が主体となった子どもの居場所作りについて、地域へ（公民館長）へ提案 ⇒今後、子どもから高齢者までの居場所作りを前向きに検討していく（H30. 1. 13 地域での協議） ・ H30 年度～ひばり児童センターを利用（指定管理者と協議済み）
	旧吉島	ひばり児童センター 95 人（通年 65 人・長 期 17 人・一時 13 人） 《43 人》	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定員を大幅に超えているため、学童の実施場所（部屋）を追加、変更等しながら対応（指定管理者と協議済み） ・ 今後小学校に余裕教室が発生した場合、その活用や将来建替えが必要となった際には、校内に学童専用室を設けることも検討していきたい
	旧西布施	西布施公民館 12 人（通年 7 人・長 期 3 人・一時 2 人） 《33 人》	<ul style="list-style-type: none"> ・ H29. 4 月西布施地域活性化センター（旧西布施小跡地に建設）へ移転（児童室 55 m²） ・ H30 年度引き続き開所予定
よつば (H30)	大町	こばと児童センター 16 人（通年 10 人・長 期 4 人・一時 2 人） 《14 人》	<ul style="list-style-type: none"> ・ H29. 9. 7 大町・村木・上野方・本江小学校統合準備会にて以下について説明 ・ こばと児童センターは H29 年度末閉館予定（H29. 8. 24 保護者説明会開催）
	村木	未開設	<ul style="list-style-type: none"> ・ H30 年度、大町・村木・本江小児童は、つ

	本江	つばめ児童センター 105人（通年87人・長期13人一時5人） 《54人》	<p>つばめ児童センター利用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H31年度、閉校となる村木小学校（統合校から1.0km）2階に新たに放課後児童クラブを開所予定（60㎡×2部屋、定員72人）、低学年はつばめ児童センター（統合校から0.7km）、中・高学年は村木小学校を利用等、登録者数を見ながら調整 ・定員を大幅に超えているため、学童の実施場所（部屋）を追加、変更等しながら対応（指定管理者と協議済み）
	上野方	上野方公民館 38人（通年20人・長期12人・一時6人） 《70人》	<ul style="list-style-type: none"> ・H30年度引き続き開所予定（スクールバスを利用予定）
住吉・上中島・松倉（H31）	住吉	下中島公民館 34人（通年22人・長期7人・一時5人） 《27人》	<ul style="list-style-type: none"> ・H29.9.14住吉・上中島・松倉小学校統合準備会にて以下について説明 ・H30～31年度引き続き各公民館で開所予定（移動手段については、学校教育課と調整）
	上中島	上中島公民館 20人（通年7人・長期9人・一時4人） 《43人》	<ul style="list-style-type: none"> ・H32年度に統合校内に放課後児童クラブ室（119.24㎡、定員72人、H31秋頃完成予定）を創設予定
	松倉	松倉公民館 25人（通年14人・長期6人・一時5人） 《26人》	<ul style="list-style-type: none"> ・住吉小児童は統合校内放課後児童クラブ室を利用予定 ・上中島、松倉小児童については、統合準備会や地域に情報提供しながら協議を進め、H30～31年度、保護者を対象に実施場所に関するアンケート等を実施予定
道下・経田（H35以降）	道下	すずめ児童センター 79人（通年65人・長期9人・一時5人） 《49人》	<ul style="list-style-type: none"> ・定員を超えているため、実施場所（部屋）を追加、変更等しながら対応（指定管理者と協議済み） ・校内にある小学校地域交流室（101㎡：61人受入れ可）や放課後子ども教室との一体的運営も検討していく。
	経田	かもめ児童センター 53人（通年33人・長期17人・一時3人） 《32人》	<ul style="list-style-type: none"> ・定員を超えているため、実施場所（部屋）を追加、変更等しながら対応（指定管理者と協議済み）

《課題まとめ》

- ① 変則的な勤務体制に対応できる有資格者の確保が困難となっている。統合により、利用時間が短くなったため、なり手不足がますます深刻となっている。
- ② 公民館で実施しているクラブでは、恒常的に従事できる支援員が少ないため、適正な配置を行うためには、多くの支援員（30.1月現在 40人）を雇用せざるを得ない状況にあり、児童や保護者との継続的な関わりが困難である。
- ③ 支援員最低2人配置が求められるため、少人数クラブでは運営経費が割高である。
(H29 予算ベース：公民館1クラブ当たりの運営経費 2,500千円～3,000千円、内人件費 2,300千円～2,900千円)
- ④ 国庫補助事業であるため、一定の基準や要件を満たさない場合、補助対象外となる。
- ⑤ 児童センターで実施している学童では、利用者が多く、一定の面積基準（一人当たり 1.65㎡）を満たすことが難しく、低学年を優先せざるを得ない。
- ⑥ 個別配慮を要する児童が増加している。
- ⑦ 統合校からの移動手段が問題となる（学童開設場所は、本来スクールバスの対象地域ではないものの、学童場所としては、あまりにも遠すぎる）。
- ⑧ 長時間開所を望むニーズがあるが、公民館で実施しているクラブでは、支援員の協力に限界がある。（住んでいる地域により、受けるサービスに差がある）。

《今後に向けて》

保護者や地域の意見を聴きながら、児童の健全育成（有資格者の確保、多様なニーズへの対応）と効率的な運営を考慮した学童保育の運営方法を検討していきたい。